



# Bandy World Championships 2018

(バンディ世界選手権 2018 Harbin 大会)

大会報告



2018年2月

一般社団法人日本バンディ連盟

## 1. 大会概要

### (1) 開催期間・開催地

2018.1.27~2.3 Harbin, China

### (2) 参加国（10カ国）

(Pool A) Mongolia, Ukraine, Japan, Estonia  
(Pool B) Netherlands, China, Somalia, Slovakia

### (3) 組み合わせ

#### 予選リーグ

Japan - Mongolia  
Japan - Estonia  
Japan - Ukraine



#### 決勝トーナメント

Japan - Slovakia

#### 準決勝

Japan - China



#### 決勝

Japan - Netherlands

## 2. 大会結果

第1位	Netherlands
第2位	Japan
第3位	Estonia
第4位	China
第5位	Mongolia
第6位	Ukraine
第7位	Slovakia
第8位	Somalia



### 3. 日本チーム試合記録

#### (1) 予選リーグ第1戦 (2018.1.28)



○日本 4 - 3 モンゴル● (※1-1 同点後のPS戦で3-2)

GOAL #21 浅野 航介

#### (2) 予選リーグ第2戦 (2018.1.29)



●日本 1 - 5 エストニア○

GOAL #16 藍原 弘典

#### (3) 予選リーグ第3戦 (2018.1.30)



○日本 6 - 2 ウクライナ●

GOAL #21 浅野 航介  
#16 藍原 弘典 (3)  
#18 石岡 元  
#26 山之内 悠

ASSIST #28 小林 壮

(4) 決勝トーナメント (2018.1.31)



○日本 4 - 1 スロバキア●

GOAL #28 小林 壮 ASSIST #76 佐々木 大輔  
#26 山之内 悠 ASSIST #76 佐々木 大輔  
#16 藍原 弘典 (2)

(5) 準決勝 (2018.2.2)



○日本 2 - 1 中国●

GOAL #10 大谷 賢司 #21 浅野 航介

(6) 決勝 (2018.2.3)



●日本 2 - 3 オランダ○

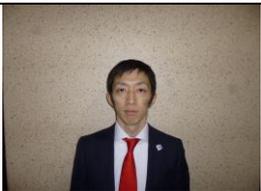
GOAL #22 中居 武蔵 ASSIST #21 浅野 航介  
#22 中居 武蔵 ASSIST #18 石岡 元



#### 4. バンディ世界選手権 2018 日本選手団

区分	氏名	所属
役員・団長	岡田 幸明	医療法人幸歯会 岡田歯科医院
コーチ	Oleg Ziganshin	club Andrew ,KHABAROVSK,Russia
STAFF	千葉 智紹	SET YOU FREE
トレーナー	宮川 洋次朗	パナソニックインパルス アスレティックトレーナー
FIB 公認レフリー	辻次 龍治	京都産業大学
監督/選手	楠本 泰教	株式会社ヨシダ工務店
主将/選手	石岡 仁	シンギスカン つる居
選手	金子 真英	株式会社ジェーシービー
選手	米田 憲司	医療法人彩樹 守口敬任会病院
選手	藍原 弘典	パナソニック株式会社
選手	石岡 元	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
選手	近藤 陽介	松谷化学工業株式会社
選手	佐々木 大輔	学校法人小井手学園
選手	山之内 悠	青森県立八戸商業高等学校
選手	長根 繁人	JiG Pro Hockey Shop
選手	中居 武蔵	JiG Pro hockey Shop
選手	浅野 航介	パナソニック株式会社
選手	大谷 賢司	新得町農業協同組合
選手 (STAFF)	平 一真	ひら農園
選手	山内 斗真	同志社大学
選手	村本 知聡	関西大学
選手	小林 壮	日本体育大学



 団長 岡田 幸明	 トレーナー 宮川 洋次朗	 スタッフ 千葉 智紹
 FIB 公認レフリー 辻次 龍治	 監督 (兼選手) #19 楠本 泰教	 主将/#24 石岡 仁
 #14 金子 真英	 #29 米田 憲司	 #16 藍原 弘典
 #18 石岡 元	 #2 近藤 陽介	 #76 佐々木 大輔
 #26 山之内 悠	 #30 長根 繁人	 #22 中居 武蔵
 #21 浅野 航介	 #10 大谷 賢司	 #46 平 一真
 #7 山内 斗真	 #42 村本 知聡	 #28 小林 壮

## 5. 最後に

日本は、7年連続でバンディ世界選手権大会に出場しました。今大会、目標としていた優勝には一歩及ばなかったものの、日本バンディ史上最高の準優勝となりました。そして、世界のトップグループであるAグループへの昇格も見てきたと確信できる大会となりました。

これは、長年のロシアハバロフスクバンディ連盟との国際交流によるトップチームの強化や、昨年実現しました北海道新得町でのフルサイズバンディリンクの設置、そして、本年1月に初開催した全日本選手権、さらには国内各地での講習会開催による普及と競技力向上など、さまざまな活動の成果が表れたものと考えております。

これもひとえに、こうした活動を長年支えていただいた株式会社モトックス様をはじめとしたご協賛各社様、賛助会員の皆様をはじめとして応援いただいたすべての皆様のお陰であり、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

また、今大会-20℃という過酷な屋外リンクで連日試合が行われましたが、バスクリン株式会社様および酒井医療株式会社様からご支援を頂き、選手のコンディショニングに多大な効果があり、今回の戦績の大きな要因となりましたことをあわせてご報告しますとともに感謝申し上げます。

世界におけるバンディの状況としては、引き続き、国際バンディ連盟（FIB）を中心に冬季オリンピックへの種目採用に向けた活動を積極的に推進しています。

日本バンディ連盟（JBF）としては、今後とも、日本におけるバンディの普及活動に注力しながら、バンディ強豪国との国際交流や世界大会への出場を通じて競技力向上を図り、世界における日本バンディの存在感を高めてまいります。また、FIBとの関係を強化し連携しながら、世界におけるバンディ競技の普及と冬季オリンピックへのバンディ競技の採用を目指してまいります。

2018年2月

日本バンディ連盟 会長 岡田 幸明

